

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2008-253343(P2008-253343A)

【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2007-95936(P2007-95936)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月14日(2012.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

縦長矩形状に形成された外枠と、  
前記外枠の内面に対向するようにそれぞれ配設可能とされる一対の本体枠側壁部、及び  
本体枠上壁部を有し、前記外枠の前面一侧に軸支される開閉軸を中心に開閉可能に設けら  
れる本体枠と、  
を備え、  
前記本体枠は、  
前記本体枠上壁部の上側に設けられたタンク部と、  
前記タンク部内の遊技球を、前記外枠の前面から特定距離以上の後方となる位置まで導  
くように、前記タンク部から後方側に延設されるかたちで形成された後方延設部と、  
前記タンク部よりも後方側の位置にて前記後方延設部から遊技球の供給を受けるととも  
に、前記タンク部よりも後方側の位置にて前記後方延設部からの遊技球を流下させる通路  
として形成された高さ方向通路と  
を備えることで、前記一対の本体枠側壁部及び前記本体枠上壁部が、前記タンク部より  
も後方側の位置にある前記高さ方向通路よりは前方側ではあるものの、前記外枠の前面か  
らは前記特定距離以上の後方となる位置までの奥行きのある略立設された壁体として設け  
られてなる  
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、

前記本体枠に対して開閉可能な扉枠がさらに設けられてなる遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、

遊技者が操作可能な操作ハンドルがさらに設けられてなり、該操作ハンドルの操作に応じて前記遊技領域に遊技球が打ち込まれる遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 0 7 】

こうした目的を達成するため、手段 1の発明では、概ね 5 2 c m の横幅、及び概ね 8 1 c m の高さ、及び概ね 7 c m の奥行き幅をもった縦長矩形状の外枠と、前記外枠の両側面内壁に隣接して互いに 4 8 c m 以上の最大距離を置いて設けられる一対の本体枠側壁部、及び前記外枠の上面内壁に隣接するように設けられる本体枠上壁部を、前記外枠の前面からその後面を超えて 1 0 c m 以上後方の位置まで前記一対の本体枠側壁部間の最大距離が可能な限り維持されるように略立設された壁体として有し、前記本体枠側壁部及び前記本体枠上壁部共々、前記外枠の前面一側に軸支される開閉軸を中心に開閉可能に設けられる本体枠と、4 8 c m 以上且つ前記一対の本体枠側壁部間の最大距離以下の最大横幅をもって主として遊技領域が形成される大型遊技板部材、及び前記大型遊技板部材の裏面側略全域にわたって主として演出領域と制御領域とが形成される大規模裏部材を有し、前記大型遊技板部材及び前記大規模裏部材共々、前記一対の本体枠側壁部及び前記本体枠上壁部により囲繞されて形成される大収容部にその前面収容口からのみ収容可能とされる遊技演出制御ユニットとを備えることを要旨とする。